

第六次南風原町総合計画

第1回 住民ワークショップ 議事要旨(案)

1 開催日時・開催場所

令和7年11月11日(火) 19:00~20:30 南風原町役場 3階 庁議室
12日(水) 19:00~20:40 中央公民館 2階 研修室
13日(木) 19:00~20:30 南風原町役場 3階 庁議室
14日(金) 19:00~20:45 中央公民館 2階 研修室

2 出席者

【教育と文化、生涯学習】分野

構 成	出席者数
町内在住者・在勤者	11名
町職員	4名
事務局	4名
委託事業者	2名

【健康と福祉、子育て】分野

構 成	出席者数
町内在住者・在勤者	13名
町職員	6名
事務局	4名
委託事業者	2名

【産業とまちの基盤】分野

構 成	出席者数
町内在住者・在勤者	9名
町職員	6名
事務局	4名
委託事業者	2名

【自治協働と広報、防災・環境】分野

構 成	出席者数
町内在住者・在勤者	11名
町職員	7名
事務局	4名
委託事業者	2名

3 次第

1. 開会
2. 総合計画とは
3. 住民ワークショップの役割とスケジュールについて
4. 住民ワークショップの進め方について
5. 現行計画施策評価結果について
6. 報告アンケート調査結果(速報値)について
7. 住民ワークショップ
 - (1)自己紹介
 - (2)意見交換
 - (3)発表
8. その他
連絡事項及び次回日程等について
9. 閉会

4 配布資料

- 資料 1 総合計画とは
- 資料 2 まちづくり住民会議の役割とスケジュール
- 資料 3 住民ワークショップの進め方
- 資料 4 現行計画施策評価結果
- 資料 5 町民アンケート調査結果速報値
- 参考資料① 住民ワークショップ名簿
- 参考資料② 基礎調査報告書(骨子案)

5 議事内容

1. 開会

- 事務局より開会の挨拶を行った。

2. 総合計画とは

- 事務局より資料 1 の説明を行った。

3. 住民ワークショップの役割とスケジュールについて

- 事務局より資料 2 の説明を行った。

4. 住民ワークショップの進め方について

- 事務局より資料 3 の説明を行った。

○質疑応答

Q:「島取り」とは何か説明していただきたい。

A:同じ意見や似たような意見をグループにしたものである。

Q ワークショップの進め方について、参加されている役場職員も把握しているのか伺いたい。

A:ワークショップの進め方について役場職員は把握していないので、委託事業者に疑問・質問等をしていただきたい。

5. 現行計画施策評価結果について

○事務局より資料 4 の説明を行った。

6. 報告アンケート調査結果(速報値)について

○事務局より資料 5 の説明を行った。

○質疑応答

Q:アンケートの項目は委託事業者が作成したのか伺いたい。

A:事務局と委託事業者にて項目を作成した。

Q:P10～21の満足度、重要度のグラフに凡例を付けていただきたい。

A:最終的なアンケート調査結果報告書では、グラフに凡例を付ける。

7. 住民ワークショップ

※P4～「住民ワークショップ意見一覧表」をご参照ください。

8. その他

○事務局より連絡事項及び次回日程等の報告を行った。

9. 閉会

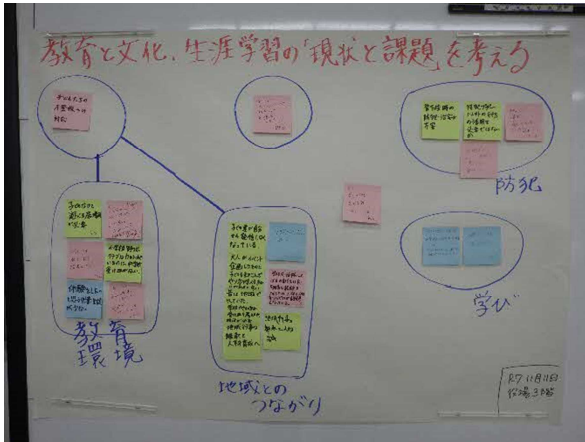
○事務局より閉会の挨拶を行った。

以上

住民ワークショップ意見一覧表

【教育と文化、生涯学習の「現状と課題」を考える】

項 目	意 見
教育環境	学校の取組が見えにくい
	子どもたちの不登校への対応
	クラスの人数が多い
	中学校の部活を増やしてほしい
	小学校は野球クラブに力を入れているのに、中学校には受け皿がない
	スポーツが続けられる環境がない
	他の市町村と比べて学校がキレイ
	町の施設をととても有効活用している(中央公民館でのお遊戯会など)
	子どもだけで遊べる居場所が必要
	児童館の活用
	子育てのサポートが少ない
	就学前後のサポートに違いがある気がする
	ファミサポの登録者を増やす取組
地域との繋がり	子どもたちが自分から発信しなくなっている
	子どもたちと大人が関わることのできるイベントや地域活動
	地域行事の参画機会
	地域行事の継承と人材育成
	卒業式の地域の方の参加
	「学校応援隊はえばる」の取組は良い
	多様な経験をさせるため、人材と人材を繋ぐのが課題
学び・体験・交流	きらきらと輝く人が育つまち
	「16.学力向上及び学習環境の整備」は、「13.学び・体験・交流機会の充実」を充実させると両方上がるのではないかな
	体験をしたいと思う児童・生徒が少ない
	子どもたちの体験を増やす
	交通アクセスの良さ→外での体験の機会を増やす
	耕や染物を高齢者や子どもたちにもっと身近に感じられるような取組
	大人がイベントを企画したものに、子どもを巻き込んでやり方を学べる機会があると良い 学校でやるべきか、受け皿を考えるか検討が必要
	学生や成人、その他の方々も集まりやすい居場所
	自習スペースがもっとほしい
スポーツ・レクリエーション	運動したくなるきっかけづくり
	運動したくなる遊環構造の周回コース
	黄金森→中心→みんなに・みんなで広げる
	木陰、日陰が少ない
防犯	登下校時の防犯・治安が不安
	防犯ブザー以外の対策(GPS の活用など)も必要ではないかな
	下校後の見回り(若い人(青年会など))
まちづくり	子どもの声をまちづくりに
	50代、60代も幸福度を感じる取組
	コロナ禍で無くなったことを把握して、復活させたい
	駐車場が足りない(1,000人当たり450台必要)
	大型バスが通れる道を増やしたい(渋滞緩和)
	助成金獲得のためのワークショップ＝市民の民度が上がる
	ドッグラン、ペット環境



【健康と福祉、子育ての「現状と課題」を考える】

項 目	意 見
めざす姿	総合的な生活満足度が0点の人は何を望んでいるのだろうか？
	50代・60代の幸福度の低さの原因は？
	50代・60代の方たちも幸福と感じられる取組
	とても楽しいという子たちは何に満足しているのでしょうか
	子育て世帯と高齢者が一緒に楽しめる取組
健康	健康を維持するため定期的な運動が必要 しかし、それを実施するためには何から行えばよいか？町全体で取組でき ることは？
	若い世代の健康に対する意識
	健康意識を高める機会が少ない
	健康に1日の活動をするために体を鍛え、体調管理をする
	スポーツが出来る施設が少ないという声をよく聞く
	卓球やバドミントン、テニスなど年齢の関係ないスポーツ
	メタボの人が増えている
	アルコール問題
	健康的な食事を作りあう
	健康であるためには定期的な診察が必要だが、それを補助する仕組 みの拡大
	生活習慣病を放置して重病化→医療費が高くなる
	医療費が増えていて財政を圧迫している
	国民健康保険が高い
	介護が増えるため対策が必要
	特定健診にメンタルヘルス(心の点検)もできたら良い
	心の健康、精神疾患に対する地域の理解
福祉・福祉教育	50代・60代の心のケアや癒しの場が必要ではないか
	発達について気軽に受診できる制度がない(病院受診が困難)
	福祉＝良いものではなく大変なもの
	子ども～大人も含む「福祉教育」について
	福祉に対する概念「かわいそう」「大変そう」にフォーカスされて終 わっていないか？→そこから生まれる思いやりや優しさもあるが、「体 験だけ」に留まらない踏み込んだ福祉教育を充実させたい
	高齢者になっても、障がいがあっても安心して暮らせること→どう だったら安心？そこを知りたい
	当事者理解(認知症や障がいなど)
	障がい児の地域移行
	放課後等デイサービスばかりではなく地域との交流も必要
	ウェルビーイングタウン(支え合い・学び合い・育ち合う)
	憩いの場(ユンタクできる場・居場所)
	貧困家庭がなくなってほしい
保育・子育て	女性の特定健診の適応(年齢拡充)
	子育て＝一人の人間を育てる、正解がない
	子育て支援
	子育てをサポートするための取組強化
	子どもを育てやすい補助
	時間産後ケア
	子育て世帯が集えるカフェや場所
	子どもの相談窓口

	保育士不足
	保育士の配置基準
	子どもの発達保障と意見の聴き取り
	子どもの人権教育
	子どもの貧困対策
	学童に入りたくても入れない子がいる
	放課後ボランティア→有償へ
	学童だけでなく、どうにか校内利用ができないか？
	子どもの知る力を高める→情報・手段を知ることによって可能性を広げられる
権利とケア	「育児 119」を作してほしい
	女性の相談窓口
	気軽に心理カウンセリングを受けられる(特に男性)
	心と身体の構造を知る勉強会
	戦争トラウマや世代間トラウマのケアが必要
	包括的性教育(地域で小さいうちから大人まで)
	「むすまい」＝「助け合い、心を合わせて共に」という意味
	やりがいを感じられる活動
	これまで関わりがなくても南風原と関わりたいと思えるきっかけづくり
情報	町の状況をわかりやすく知らせること
	他市町村から転入時に町の福祉関係、役場の組織の説明が乏しい
	行政の情報が広まっていない(子育て関連)
	SNS を活用した周知
	LINE の充実(HP に飛ぶのではなく、LINE から直接申し込み可にする)
	「子育てアプリ」を継続してほしい
	QAB のデータ放送
	悩み事相談 相談窓口の案内
	父親の繋がり
	障がい者スポーツの周知(ブラインドサッカーの周知)
居場所づくり (子ども・高齢者等)	年齢に関係なくいつでも誰でも集まれる場所(引きこもり等含む)
	近所・友人に引きこもりがいて気になる
	まだまだ元気な高齢者が地域のためにできること
	ミニデイ以外居場所づくり(コミュニティ)
	福祉は繋がり 子どもをどう大人と関わらせるか 学校以外の居場所
	子どもたちが誰でも集まれる居場所
	若者(10 代)の居場所づくり
	子ども食堂がたくさんあってほしい
	中高生のたまり場 青少年センター
	多様な文化・価値観を認める
環境(施設等)	需要に沿った有効的な施設の充実
	10 年以上前と比べて福祉サービス事務所が増大、病院等も増大
	沖縄で唯一の盲学校
	町内にホテルが無い
	学校を増やしたい
	公園や運動場に女性が一人でも安心してウォーキング等ができるようになると良い
	障がい者スポーツができる環境(ブラインドサッカーの壁がほしい)
交通	交通手段(高齢者・障がい者)
	公共交通機関(病院に行きやすい)

	乗り合いタクシー(Mobi(モビ))の周知 交通の便は良くなっているが、不便を感じる方はいないか？ 不便さの共有(不便益)
民生委員・児童委員	民生委員・児童委員とは何か？ どのような仕事があるの？ 町内の民生委員・児童委員は充実しているか？
防災	海のないまち 津波に無関心 高齢者・障がい者の避難の仕方
人口	後期高齢者の人数が増加している(労働人口の減少) 若者や子どもの数が少なくなっている(労働人口の減少)
雇用	(地域の雇用)中学卒業後の就労



【産業とまちの基盤の「現状と課題」を考える】

項 目	意 見
強み	町民同士の繋がりが強い、各年代の繋がりが強い
	イオン南風原店をバルジャと呼んでいるので良いと思う
	イオン→テスト販売がしやすい
	南風原北・南 I.C→物流拠点化しやすい
	那覇に近く、農地もあるのでバランスが良い
	プログラミング教育
	IT 人材を育てる
	人財が多い(エッセンシャルワーカーなど)
	植物が多い(観葉植物としてクワズイモの需要が高い)
農業	農業についてわからない
	農業の担い手不足
	農家団体の減少
	ファーマーズがもっと充実すれば担い手が増える？
	子どもの農業体験が少ない
	スマホに頼らず、収穫体験など外での活動を増やしてほしい
	食育が必要
	農業体験の場が減っている
	自然体験をする場所がほしい
	農業と福祉の連携(農福連携)
	農家の所得が低い
	農業を始めるにあたって、生活ができる収入の目安を知りたい
	畑の単位面積の収入を上げる必要がある
	初期投資が掛かる
	自給率を上げる(確保)すべきと思うが、適正な規模がわからない
	農地の整備が必要、集約化
	畑の環境強化、集約化
	農家さんのサポート
	都市化の中で農業とのバランスが心配
	遊休地が多い
	設備投資をするにしても、コストに見合った設備投資を要する
	農業は温暖化や台風で安定しづらい
	農地転用する時の住宅地との棲み分け
	地主が農地を貸したがない(土地を取られる心配がある)
観光	観光資源が乏しい
	観光と平和のコラボ
	「飯あげの道」がすごく滑る

	祭りをもっと大きくやった方が良い
伝統工芸・芸能	絣のまちとして子どもから大人まで関われる取組
	絣を町民が着用して愛着を持てるようにする
	琉球絣があるのに「着物を纏う」習慣化の仕組みがない→行動まで伴わない
	昔の南風原は絣のドレスで結婚式を行っていた
	七五三、成人式、学校、役場、会社、文化センターなどで着付け体験＋歴史を学ぶ
	絣等の伝統工芸に触れる機会がもっとあったら良い
	芸能のまちだけど、若者で芸能をやる人が少ない
交通	高齢者にも利用しやすいような公共交通機関がある良い
	モノレールの延伸
	鉄道を通してほしい
	バスが来ない
	津嘉山はバスが不便(町内を移動する際に那覇を経由する必要がある)
	車が多くて危ない
	学校に車の乗り入れが多く怖い
	交通量が増えて、道が混雑する
	道幅が狭い
	mobi(モビ)の利用率を上げたい
	mobi(モビ)の周知
	mobi(モビ)の利用方法の周知
	mobi(モビ)…R6 1,000 人/日、R7 1,400 人/日 運行時間…8:00～20:00 利用者の 98%が満点評価
	社協と協力して mobi(モビ)アプリの使い方などレクチャーしている
生活環境	建築費の高騰で住宅を建てられない人が増えている
	良質な住宅を建てられる環境を整える必要があると思う
	兼城地区では住宅地に通じた土地が少ない
	最近新地アパートが目立つ
	新築アパートが増えると、帰属意識の薄い人が多くなってしまう
	集合住宅・分譲住宅の方が良い
	土地が高い
	津嘉山公園の子どもの遊び場が少ない
	公園で遊べる遊具がほしい
	公園整備＝滞在時間が長くなる
	街路樹がもっとほしい
	日陰・木陰のある歩道
	畑が続くと暗く、防犯灯が少ない
	水の災害…住宅開発に伴い、雨水排水量が増加し、既存の施設では持たなくなる恐れがある

	本部公園の下が陥没した
	インフラ整備の時期
交流	子ども目線の会議をしてもらう
	引きこもりの方々が活躍できるような仕組みづくり
物流	高架ガード下のスペースがもったいない→農作物を保存できるような冷凍倉庫や防災で活用できないか
	交通の便が良い強みを生かして、公園の整備を行う→周りの商業地にお金を落としてくれる
スポーツ・ヘルスケア	中学を卒業し、進路未決定の方が地域の企業・産業に働けるまち
	町内で消費を高める
	南風原町でキャンプを行うチームとコラボした食べ物やグッズ
	資料-5P16「集積している産業を生かした新たな展開について」…健康・食への意識が高い町民が多いので、それらの分野を取り入れたら良い
まちづくり	群大会・県民体育大会以外の住民と一体化する参加型受益者負担のイベントが少ない→1.子どもから年配の方まで 2.運動する人・しない人 3.協働の精神が生まれる仕組みがない
	人口が増加しているのに、住民の多種多様なニーズも増えてくるのではないかな？ 魅力の発掘



【自治協働と広報、防災・環境の「現状と課題」を考える】

項 目	意 見
自治協働	支え合う大切さを深掘りしたい→なぜ助け合う・支え合う事が必要なのか？
	安心してボケられる地域とは？
	横の繋がりを作る必要
	井戸端会議を最近見ない
	自治会加入率が低い
	自治会加入者が少ない
	自治会のなり手不足
	役員のなり手不足
	自治会長が忙し過ぎる問題
	忙しくて勧誘にまで手が回らない
	新しい人たち(転入してきた人たち)はどのように感じているのか？
	新しい住民の方が地域に入るきっかけづくり
	自治会に入るメリットをもっと作る
	青年会活動継続が難しい 入会者不足
	地域行事への住民参加が少ない(特に子ども会)
	子ども会がなくなってきた
	PTA 加入が減っている
	コロナ禍前までは PTA など活発だったが、コロナ禍以降はイベントが少なく関係が薄れている(喜屋武でも)
	学校行事と地域の交流
	青年会に入りづらい 働き盛り層(子ども層) 高齢者層
	青年会、PTA、子ども会の活動を活発にしてほしい
	大人と子ども、地域でのコミュニケーション
	「婦人会」が「女性会」になってから参加しやすくなった
	女性会の高齢化、なり手不足
	平日は家族の支援等で活動に参加できない
	地域活動に参加する余裕がない
	自治会に加入したくない人を無理矢理参加させる必要はあるのか？
	社会教育福祉団体が弱体化している
	困った時にどこに相談・連絡したら良いかわからない
	地域の業者さんを紹介してほしい(水道・電気) 自治会を通じて繋がりたい
	不動産屋に町の情報を発信してほしい(地域行事など)
	人材育成・確保
	地域伝統芸能の継承

	芸能(獅子舞など)子ども会の集まり
	「地域に戻りたい」へ
	「支え合う力」が同じ目標へ→早い復興に繋がる
	災害後の復興に繋がる地域づくり
	災害など何かあった時のために日頃から地域で繋がり、支え合いが必要
広報・情報	広報誌は全戸配布されているか？
	広報誌について、自治会で配布に差がある
	自治会の情報を加入していない家庭に届けにくい
	情報を困った時にしか求めない
	情報入手について、手段的に難しい人もいる
	町公式 LINE の登録者が少ない
	議会だよりでしかわからない
防災・防犯	防災意識は低い？
	9月が防災月間→10月にアンケート 意識が高まっていたかも(小・中学生)
	防災について意識を高める必要がある(意識が低い)
	自主防災組織はあるが、何をしたら良いかわからない
	自主防災組織の取組が弱い
	地域防災計画がない
	大雨時の対応
	地域によっては冠水する地域がある
	土砂災害のリスクが高いエリアの対策が必要
	ハザードマップの活用はされているか？まず、町民が見ているか？
	福祉避難所は充分なのか？(数・質)
	使える井戸はいくつあるのか？
	災害の際に連絡先がわからない
	災害時の避難先がわからない
	防災無線が聞こえづらい
	公園に防災倉庫を設置してほしい
	災害時(特に津波)に自動車道の発達に伴い、他市町村から避難してきた人の往来が多くなる
	子どもが一人の時、災害にあうことが不安
	南風原町は道路が通行止めになると孤立しないか？
	災害後の復興に繋がる地域づくり
	災害など何かあった時のために日頃から地域で繋がり、支え合いが必要
	声かけ事案(危険か危険じゃないか判断が難しい)
	全国的に犯罪が増えた気がする(報道が多い)
	子どもだけで遊ばせるのは不安

	集団登下校
環境	夜道が暗い
	町営プールがあれば良いと思う
	子ども達が自然と触れ合える場所を作る
	東新川にビオトープを作りたい
	学童の待機児童が多い(特に津嘉山) 子ども会を発足できたらと思う
	騒音問題(人によっては感じ方が違う)
	子どもたちの声が騒音としてクレームが上がる場合もある
	長堂川が臭い
	川が汚れている
	川遊びできるようにキレイにしたい
	水辺周辺の環境整備
	下水道の充実
	散歩していてゴミが落ちている
	ポイ捨てが酷い(公園・スージ道(狭い道))
	ゴミが風で飛ばされている(ペットボトル、空き缶)
	ゴミの出し方、リチウム電池等の出し方の周知ができているか?
	一人一日当たりのごみ排出量が減っているのはなぜ?
	リサイクルの意識が高い人のマネをする
	ゴミ出しの日の景観が悪い
	曜日にゴミが出せない人が安心してゴミ出しできる環境づくり
	ゴミステーションを作してほしい
	制服のリユース
	環境教育を充実してほしい
	地球環境に対する関心を高めたい
	道脇の雑草(見通しが悪い)
	野良猫被害が多い
	カラスが多い
	公園が荒れている

